## ソーシャルワークの基盤と専門職

**問題　64**　次の記述のうち，社会福祉士及び介護福祉士法において社会福祉士が努めなければならないと規定されていることとして，**最も適切なもの**を**１つ**選びなさい。

1　社会福祉士の信用を傷つけるような行為をしないこと。

2　福祉サービス関係者等との連携を保つこと。

3　相談援助に関する知識及び技能の向上を行うこと。

4　正当な理由がなく，その業務に関して知り得た人の秘密を漏らさないこと。

5　常にその者の立場に立って誠実にその業務を行うこと。

**問題　65**　「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」(2014 年)におけるソーシャルワークの知(Knowledge)に関する次の記述のうち，**適切なもの**を**２つ**選びなさい。

1　ソーシャルワークの理論的基盤及び研究は，専ら医学の知見に基づいて構成されている。

2　ソーシャルワークの研究と理論の独自性は，閉鎖性と応用性にある。

3　人々と作り上げてきたソーシャルワークの知は，それぞれの国や各地域においても，また国を越えて普遍的に，それぞれの形で，より適切に実践されることになる。

4　ソーシャルワークの知は，西洋の理論や知識を根拠としたものであることが期待されている。

5　多くのソーシャルワーク研究と理論は，サービス利用者との双方向性のある対話的過程を通して共同で作られている。

(注)「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」とは，2014 年７月の国際ソーシャルワーカー連盟(ＩＦＳＷ)と国際ソーシャルワーク学校連盟(ＩＡＳＳＷ)の総会・合同会議で採択されたものを指す。

**問題　66**　事例を読んで，**A**社会福祉士の発言の基盤となっている考え方を提示した人物として，**最も適切なもの**を**1つ**選びなさい。

〔事　例〕

地域活動支援センターで指導員として勤務する**A**が，地域自立支援協議会の実務者会議に出席したところ，管轄地域内における今後の生活支援の方向性を問われた。そのため，日頃の相談支援活動を踏まえて「私は，障害のある方々の様々な活動が価値ある役割として，社会に認められていくための取組を，私たちはこれからも続けていくことが大切だと思います」と発言し，出席者から賛同を得た。

1　バンク-ミケルセン(Bank-Mikkelsen，N.)

2　ニィリエ(Nirje，B.)

3　ソロモン(Solomon，B.)

4　ヴォルフェンスベルガー(Wolfensberger，W.)

5　バンクス(Banks，S.)

**問題　67**　事例を読んで，被保護者との関係に苦慮するA現業員に対する査察指導員B（社会福祉士）のスーパービジョンの助言として，**適切なもの**を**2つ**選びなさい。

〔事　例〕

C福祉事務所の査察指導員Bは，生活保護を担当して1年目のAから，単身世帯のDさん（70歳）への対応について相談を受けた。Aによると，Dさんは，Dさんの誤解によるトラブルから近隣とのつきあいはほとんどなく，買い物以外は家に閉じこもっている。私（A）が訪問すると毎回のように「あなたも近所の人たちと同じだ。あなたの話もわからない。福祉は困っている人を助けるためにあるはずだ。なのに，なぜ，もっと自分を助けてくれないのか」と言われる。内容を尋ねるも具体的なことはわからず，どのように応答してよいのか困っているとのことであった。

1　「家庭訪問でのDさんとのやりとりを振り返ってみましょう」
2　「話し相手がいる近隣のサロンを紹介すると伝えてみましょう」
3　「日頃の生活をご近所の方々に尋ねることについてDさんから了解を得てください」
4　「他の事例を適用してDさんへの対応を検討してみましょう」
5　「生活保護担当者としての業務と役割について，一緒に確認してみましょう」

**問題　68**　アメリカにおける初期のセツルメントに関する次の記述のうち，**最も適切なもの**を**1つ**選びなさい。

1　「施与（せよ）ではなく友人を」を掲げて友愛訪問活動を行った。
2　貧困を社会的・経済的な問題として捉えた。
3　ケーススタディを通して貧困状態にある人の救済を行った。
4　援助の効率化を図るために「援助に値する貧民」を選別した。
5　シカゴにはトインビーホールが設立された。

**問題　69**　ドルゴフ(Dolgoff，R.)らによって提示された倫理原則に関する次の記述のうち，**正しいもの**を**1つ**選びなさい。

1　平等と不平等に関する倫理原則では，同じ環境に置かれている人には誰に対しても同じように対応しなければならない。

2　プライバシーと守秘義務に関する倫理原則では，全ての人が自らのプライバシーと守秘義務を強化しなければならない。

3　自律と自由に関する倫理原則では，全ての人々の生活の質を高めるような選択肢を選ばなければならない。

4　最小限の害に関する倫理原則では，あらゆる人の生活や生命を守らなければならない。

5　誠実と情報の開示に関する倫理原則では，クライエントへの関連の有無に関係なく，全ての情報を伝えなければならない。

(注)「ドルゴフ(Dolgoff，R.)ら」とは，2009年にEthical Decisions for Social Work Practice(8th ed.)を著したドルゴフ，ローウェンバーグ(Loewenberg，F.M.)とハリントン(Harrington，D.)のことである。